

ジェンダー研究センター彙報 <平成15年度>

(平成15年4月1日～平成16年3月31日)

職名は発令時による

平成15(2003)年度 研究プロジェクト概要

年 月 日	テ ー マ	報告者、評者等
[東アジアにおけるジェンダー/セクシュアリティ理論と政治の諸課題] “Emerging Challenges to Feminist Gender/Sexuality Theories and Politics in East Asia”		
平成15年5月28日	セミナー「ポルノグラフィと女性の性的主体性」“Pornography and Female Sexual Agency”	何春蕤 (Josephine Ho) (台湾国立中央大学教授・同大セクシュアリティ研究センターコーディネーター、お茶の水女子大学ジェンダー研究センター外国人客員教授) コメンテーター：根村直美 (日本大学経済学部助教授、お茶の水女子大学ジェンダー研究センター研究協力員)
平成15年6月4日	セミナー「セックス・ワークにおけるセルフ・エンパワーメントと職業的行為遂行性」“Self-Empowerment and Professional Performativity in Sex Work”	何春蕤 (Josephine Ho) (台湾国立中央大学教授・同大セクシュアリティ研究センターコーディネーター、お茶の水女子大学ジェンダー研究センター外国人客員教授) コメンテーター：水島希 (セックスワークの非犯罪化を要求するグループ UNIDOS、SWASH [=Sex Work and Sexual Health])
平成15年6月18日	セミナー「スパイス・ガールから援助交際へ—台湾におけるティーンエージ・ガールのセクシュアリティの形成」“From Spice Girls to <i>Enjo Kosai</i> : Formations of Teenage Girls' Sexualities in Taiwan”	何春蕤 (Josephine Ho) (台湾国立中央大学教授・同大セクシュアリティ研究センターコーディネーター、お茶の水女子大学ジェンダー研究センター外国人客員教授) コメンテーター：田崎英明 (大学非常勤教員)
平成15年6月27日	セミナー「反人身売買から社会的規律へ」“From Anti-Trafficking to Social Discipline”	何春蕤 (Josephine Ho) (台湾国立中央大学教授・同大セクシュアリティ研究センターコーディネーター、お茶の水女子大学ジェンダー研究センター外国人客員教授) コメンテーター：竹村和子 (お茶の水女子大学大学院人間文化研究科教授)
平成15年7月4日	セミナー「アイデンティティと身体化—トランスジェンダーを構築する」“Identity and Em[bodi]ment: Constructing the Transgender”	何春蕤 (Josephine Ho) (台湾国立中央大学教授・同大セクシュアリティ研究センターコーディネーター、お茶の水女子大学ジェンダー研究センター外国人客員教授) コメンテーター：三橋順子 (中央大学社会科学研究所客員研究員)
[映画にみるジェンダー化された『中国』—ポスト冷戦時代の文化政治—]		
平成15年10月27日	セミナー「『女』の物語：激変の歴史」	戴錦華 (Dai Jinhua) (北京大学比較文学・比較文化研究所教授、お茶の水女子大学ジェンダー研究センター外国人客員教授) コメンテーター：白井啓介 (文教大学文学部教授)
平成15年11月6日	セミナー「『扮演』の物語：女性主体の苦境」	戴錦華 (Dai Jinhua) (北京大学比較文学・比較文化研究所教授、お茶の水女子大学ジェンダー研究センター外国人客員教授) コメンテーター：斉藤綾子 (明治学院大学文学部助教授)
平成15年11月12日	セミナー「『他者』の物語：主体・アイデンティティとジェンダー」	戴錦華 (Dai Jinhua) (北京大学比較文学・比較文化研究所教授、お茶の水女子大学ジェンダー研究センター外国人客員教授) コメンテーター：水田宗子 (城西国際大学学長)

夜間セミナー

	年 月 日	テ ー マ	報告者、評者等	
夜間セミナー	平成15年11月19日	セミナー「『物語』の中のもうひとつの物語：ポスト社会主義時代のジェンダーと階級」	戴錦華 (Dai Jinhua) (北京大学比較文学・比較文化研究所教授、お茶の水女子大学ジェンダー研究センター外国人客員教授) コメンテーター：高橋哲哉 (東京大学大学院総合文化研究科教授)	
	平成15年11月26日	セミナー「『男』の物語：ポスト冷戦時代の権力と歴史記述の中のジェンダー・アイデンティティ」	戴錦華 (Dai Jinhua) (北京大学比較文学・比較文化研究所教授、お茶の水女子大学ジェンダー研究センター外国人客員教授) コメンテーター：坂元ひろ子 (一橋大学大学院社会学研究科教授)	
	「グローバル化における通文化的ジェンダー研究の意義と方法—北東アジア女性口述生活史を事例として—」			
	平成16年1月28日	セミナー「理論的仮説：『プレ・グローバルゼーション』問題から『グローバル化研究』を考える—なぜ行かうか？ どのように？ 何をなしとげたか？—」	李小江 (Li Xiaojian) (大連大学教授・同大学ジェンダー研究センター所長、お茶の水女子大学ジェンダー研究センター外国人客員教授) コメンテーター：秋山洋子 (駿河台大学経済学部教授、お茶の水女子大学ジェンダー研究センター国内客員教授)	
	平成16年2月4日	セミナー「〈方法1〉ジェンダー分析：階級/民族/国家を超えて—中国朝鮮族と南北KOREAの事例から—」	李小江 (Li Xiaojian) (大連大学教授・同大学ジェンダー研究センター所長、お茶の水女子大学ジェンダー研究センター外国人客員教授) コメンテーター：早川紀代 (フェリス女学院大学非常勤講師)	
	平成16年2月12日	セミナー「〈方法2〉口述インタビュー：生活/生存の質を省察する—北東アジア (中国、日本、韓国) 農村女性の事例から—」	李小江 (Li Xiaojian) (大連大学教授・同大学ジェンダー研究センター所長、お茶の水女子大学ジェンダー研究センター外国人客員教授) コメンテーター：桜井厚 (千葉大学文学部教授)	
平成16年2月18日	セミナー「〈方法3〉立場の置きかえ：多元的文化の差異、衝突、選択を提示する—旧満州 (日本植民地) 時代の口述生活史を中心に—」	李小江 (Li Xiaojian) (大連大学教授・同大学ジェンダー研究センター所長、お茶の水女子大学ジェンダー研究センター外国人客員教授) コメンテーター：中尾知代 (岡山大学文学部助教授)		
講演会	平成16年3月6日	公開講演会「戦争体験とジェンダー—北東アジアの女性口述史研究から—」	李小江 (Li Xiaojian) (大連大学教授・同大学ジェンダー研究センター所長、お茶の水女子大学ジェンダー研究センター外国人客員教授) コメンテーター：成田龍一 (日本女子大学人間社会学部教授)、加納実紀代 (敬和学園大学国際文化学科教員)、通訳：陳蘇黔	
ワークショップ	特別ワークショップ(理学部情報科学科藤代研究室との共催) 「女性のエンパワーメントと語学教育」			
	平成15年7月8日	基調講演 “Development Children’s Language” 報告 “Education and Empowerment of Migrant Women: A Case of 1st Generation Korean Women in Japan”	ドゥーリット・カウフマン (Dorit Kaufman) (ニューヨーク州立大学ストーニー・ブルック校言語学部助教授) 徐阿貴 (お茶の水女子大学大学院人間文化研究科博士後期課程)	
「東アジアにおける植民地的近代とモダンガール」研究会	平成15年5月25日	“The Modern Girl in Visual Culture”	ヴェラ・マッキー (カーティン工科大学教授)	
		「日本のモダンガールの多元的アイデンティティ」	バーバラ佐藤 (成蹊大学教授)	
	平成15年7月5日	「台湾から見たモダンガールと植民地的近代」 「日本における百貨店の文化的機能とジェンダー・アイデンティティの形成—百貨店女性店員にみる近代都市文化と百貨店の社会史」	洪郁如 (明星大学専任講師) 玉利智子 (ノッティンガム・トリート大学)	

	年 月 日	テ ー マ	報告者、評者等
「東アジアにおける植民地的近代とモダンガール」研究会	平成15年7月5日	「1920年代スペインにおける女性の断髪—『快適さ』の獲得」	磯山久美子(お茶の水女子大学大学院博士後期課程)
		「『婦女雑誌』にみる1920年代中国社会の『新婦女』」	何璋 (お茶の水女子大学大学院博士後期課程)
	平成15年9月28日	「グローバル化時代におけるコロニアル・モダニティ研究の方法論的諸問題をめぐって」	キム・ウンシル (梨花女子大学准教授)
		「奢侈と資本とモダンガール—資生堂企業史研究—」	足立眞理子 (大阪女子大学教授、お茶の水女子大学ジェンダー研究センター研究協力員)
	平成15年12月19・20日	ワークショップ、資生堂企業資料館見学	
		「日本における『新しい女』と『モガ』という二つの像、概念の関係」	牟田和恵 (大阪大学助教授)
		「日本の風刺漫画におけるモガの身体」	ヴェラ・マッキー (カーティン工科大学教授)
		「沖縄の近代における〈女性〉主体の諸問題」	宮城晴美 (那覇市歴史資料室)
「戦後沖縄の女性向け雑誌『沖縄婦人之友』に関する予備的考察」		伊藤るり (お茶の水女子大学ジェンダー研究センター教授)	
「1930年代広州における都市部サービス雇用への女性労働者の参入と美の消費」		アンジェリーナ・チン (カリフォルニア大学サンタクルーズ校 Ph.D. candidate、お茶の水女子大学ジェンダー研究センター研究生)	
「中国における〈近代〉の異なる意味とモダンガール」		戴錦華 (北京大学教授、お茶の水女子大学ジェンダー研究センター外国人客員教授)	
	「中国における優生学的女性、半植民地主義、植民地的近代」	タニ・バーロウ (ワシントン大学教授)	
「国際移民とジェンダー再編」研究会	平成15年4月6日	「フェミニズムで読む『帝国』」	足立眞理子 (大阪女子大学教授、お茶の水女子大学ジェンダー研究センター研究協力員)
	平成15年4月15日～29日	APMRN (Asian Pacific Migration Research Network)/UNESCO プロジェクト「移住労働者とその家族の権利保護条約の批准状況をめぐる7ヵ国調査」への調査協力	
	平成15年5月17日	「在外コリアン研究の動向」“Beyond the Shadow of Camptown: Korean Military Bride in America”	Ji-YeonYuh (呂知娟) (ノースウェスタン大学歴史学部準教授)
	平成15年7月13日	「フランスの北アフリカ系移民の娘たちに関するグニフ・スイラマスの研究をめぐって」“Des Beurettes aux descendantes d’immigrants nord-africains by Guenif Souilamas Nacira”	小林淳子 (お茶の水女子大学大学院博士前期課程)
	平成15年11月29・30日	科研費報告書作成に向けて報告・検討のための合宿	
	平成15年12月10日～13日	インド・デリー大学国際会議“Women and Migration in Asia” (University of Delhi, Developing Countries Research Centre)	伊藤るりが基調講演者として、小ヶ谷千穂、徐阿貴、ブレンダ・テネグラが報告者として参加
	平成16年1月23日	F-GENS / A2研究会と合同研究会“Outsourcing Care Work: the Case of Migrant Women in Malaysia”	徳永理彩 (一橋大学大学院博士後期課程)
“Gendered Migration, Entitlement and Civil Action in Asia” (draft prepared for the United Nations Research Institute for Social Development)		山中啓子 (カリフォルニア大学バークレー校)	

	年 月 日	テ ー マ	報告者、評者等
ジェンダーと健康 (GHS) 研究会	平成15年 5月10日	今後の活動の基本方針と新体制のための会議	
	平成15年 6月28日	「近年のフェミニズム理論の動向と GHS 研究」	斉藤正美 (お茶の水女子大学21世紀 COE プログラム 研究員、富山大学非常勤講師)
		「生理休暇の誕生」	田口亜紗 (成城大学大学院博士課程)
	平成15年 9月 6日	「男性性の社会学における『買春』という問い」	田中俊之 (武蔵大学大学院博士課程)
	平成15年10月 4日	「現代のたばこ広告にみる男性の身体と空間」	村田陽平 (京都大学大学院博士課程)
	平成15年12月13日	「青年期における身体像の認知に関する考察」	藤田智子 (お茶の水女子大学大学院博士後期課程)
	平成16年 1月24日	「ジェンダー概念の展開とジェンダー・パースペクティブ」	斉藤正美 (お茶の水女子大学21世紀 COE プログラム 研究員、富山大学非常勤講師)
	平成16年 2月21日	「看護学におけるジェンダー／フェミニスト・パースペクティブ」	朝倉京子 (新潟県立看護大学助教授、お茶の水女子大学ジェンダー研究センター研究協力員)
		「女たちが紡いだリプロダクティブ・ヘルスの歩み—米軍統治下沖縄の助産婦による家族計画普及活動—」	澤田佳世 (津田塾大学大学院博士課程)
	平成16年 3月13日	「現代日本における性差医療と更年期世代の生き方についての研究序説—日本における『ジェンダーの人類学』と『健康／セクシュアリティとジェンダー研究』／『ジェンダー・パースペクティブ』との接点、あるいはその接合可能性」	浮ヶ谷幸代 (千葉大学非常勤講師、お茶の水女子大学ジェンダー研究センター研究協力員)
「『重い生理』を語る場所—月経をめぐる文化人類学的試論—」		田口亜紗 (成城大学大学院博士課程)	
平成15年11月 8日	若手ワークショップ(お茶の水女子大学21世紀 COE プログラムとの共催)	司会：根村直美 (日本大学助教授、お茶の水女子大学ジェンダー研究センター研究協力員)	
	「看護学領域におけるセクシュアリティ概念」	朝倉京子 (新潟県立看護大学助教授、お茶の水女子大学ジェンダー研究センター研究協力員) コメンテーター：高橋都 (東京大学大学院医学系研究科助手)	
	「『開発』におけるリプロダクティブ・ヘルス／ライツ」	藤掛洋子 (お茶の水女子大学大学院博士後期課程) コメンテーター：村田陽平 (京都大学大学院博士課程、お茶の水女子大学ジェンダー研究センター研究協力員)	
	「医療領域における『出生前検査』と『自己決定』」	菅野摂子 (立教大学大学院博士課程) コメンテーター：田中俊之 (武蔵大学大学院博士課程)	
「フェミニズムと現代思想／映像表現とジェンダー」研究会	平成15年 4月25日	『非常時日本』ビデオ鑑賞	宜野座菜央見 (カリフォルニア大学ロサンゼルス校 博士課程) による講演
	平成15年 5月26日	ハーバード・ロス監督『ボーイズ・オン・ザ・サイド』ビデオ鑑賞 報告「アメリカ映画『ボーイズ・オン・ザ・サイド』における人種・セクシュアリティの表象—黒人レスビアン、ジェーンの主体性をめぐって」	寺沢香菜子 (英ウォーリック大学フィルム&テレビジョン学部修士課程修了) による報告
	平成15年 7月25日	黄蜀芹監督『舞台女優』ビデオ鑑賞 報告「第五世代以後の中国映画とジェンダー」	アンニ (法政大学非常勤講師) による報告
	平成16年 1月27日	カリン・クサマ監督『ガールファイト』ビデオ鑑賞 報告「Female Masculinity in <i>Girlfight</i> (2000)」	吉田俊実 (東京工科大学バイオニクス学部助教授) による報告

	年 月 日	テ ー マ	報告者、評者等
キャンパス・セクシュアル・ハラスメント研究会	平成15年4月21日 ／6月11日／9月19日	アメリカのキャンパスセクシュアル・ハラスメントに関する文献の購読、取り組みの検討	メンタルヘルス研究会
メンタルヘルス研究会	平成15年4月11日 ／5月27日／7月29日 ／8月24日／10月14日 ／12月23日／平成16年3月15日	女性のメンタルヘルスの支援システム・環境の見直しと構築について、地域社会におけるソーシャル・サポートシステムの検討	
	平成15年7月12・13日	調査票調査準備のための合宿	

21世紀 COE プログラム「ジェンダー研究のフロンティア (F-GENS)」概要

企画	年 月 日	形 態	テーマ、報告者、評者等
A1	平成15年10月10日	公開セミナー	「司法とジェンダー 日米比較」 【講師】 マージョリー・D・フィールズ／元ニューヨーク州最高裁判所判事 (米国) 【講師】 長谷川京子／弁護士 【司会】 戒能民江／お茶の水女子大学教授
A1	平成15年10月20日	講演会	「DV 加害者再教育の方向性 アメリカの経験から学ぶこと」 【講師】 スティーブン・D・ボトキン／マサチューセッツ州・メンズリソースセンター代表 (米国) 【講師】 ラッセル C・ブラッドベリーカーリン／マサチューセッツ州・MOVE プログラムマネジャー (米国) 【コメント】 辻雄作／男のあり方を問う会 【司会】 戒能民江／お茶の水女子大学教授
A1	平成15年10月30日	講演会	「オーストリアの DV への取り組み—NGO とジェンダー政策形成—」 【講師】 レナーテ・エッガー／「女性の家」セラピスト (オーストリア) 【司会】 戒能民江／お茶の水女子大学教授
A1	平成15年11月3日	公開研究会	「婚外子・シングルマザー研究の現在」 【報告】 田中弘子／愛媛大学教育学部教授；橋本真琴／日本学術振興会特別研究員・お茶の水女子大学博士後期課程 【討論者】 須長史生／昭和大学教養学部専任講師；加藤秀一／明治学院大学社会学部教授 【司会】 田宮遊子／お茶の水女子大学大学院博士後期課程
A1	平成15年12月11日	公開研究会	「国・自治体のジェンダー政策」 【講師】 橋本ヒロ子／十文字学園女子大学教授 【講師】 森屋裕子／NPO 法人フィフティネット代表 【コメンテーター】 陣内泰子／八王子市議会議員 【コメンテーター】 大西祥世／COE 客員研究員
A1	平成16年2月1日	公開研究会	「大学におけるハラスメントとは何か—大学院生の立場から考える」 【報告】 北仲千里／日本福祉大学非常勤講師「大学におけるハラスメント—防止のためのいくつかの論点、そして構造分析を始めるために」 【報告】 常葉・布施美穂／日本学術振興会特別研究員「大学院とは何か？海外大学院の事例をもとに考える」 【報告】 菊地夏野／京都大学大学院博士後期課程「キャンパス・セクシュアル・ハラスメントの困難」 【コメンテーター】 松本克美／立命館大学法学部教授 【司会】 武田万里子／金城学院大学現代文化学部教授
A1	平成16年2月14日	若手・NGO 中心型ワークショップ	「国・自治体におけるジェンダー政策」 総合司会：戒能民江／お茶の水女子大学教授 セッションA テーマ：自治体ジェンダー政策の領域における政策立案・実施における市民の関与と協働についての報告と議論 【司会】 橋本ヒロ子／十文字学園女子大学教授 【コメンテーター】 大沢真理／東京大学教授 木須八重子／せんだい男女共同参画推進財団 【報告】 「自治体ジェンダー政策研究の視点」大西祥世 「『男女共同参画社会基本法』への道」土田とも子 「自治体でジェンダー平等政策を推進する」米田禮子 「性の政治(ジェンダー・ポリティクス)としての男女共同参画条例にみるバックラッシュの事例」小柴久子 「男女共同参画条例のバックラッシュ対策で私たちは何を学んだか」申瑛榮 「自治体のドメスティック・バイオレンス政策」ゆのまえ知子 「NPO が提案・実践するジェンダー・メインストリーミング」山本由美子 「男女平等推進コーディネーターとして」堀江節子 「地方自治体の男女共同参画施策」堀久美 セッションB テーマ：福祉など他の領域での個別政策との連関性についての報告と議論 【司会】 庄司洋子／立教大学教授 【コメンテーター】 北明美／福井県立大学専任講師、藤崎宏子／お茶の水女子大学教授 【報告】 「自治体における子育て支援施策とジェンダー政策の関係」井上清美 「子育て経験のジェンダー差をふまえた政策策定を目指して」鈴木富美子

企画	年 月 日	形 態	テーマ、報告者、評者等
A1	平成16年2月14日	若手・NGO 中心型ワークショップ	「誰がひきこもりをケアするのか」樋口明彦 「自治体のひとり親政策」田宮遊子 セッションC テーマ：セッションA、セッションBでの報告、討論をもとにした総括的議論 【問題提起】橋本ヒロ子／十文字学園女子大学教授
A2	平成15年9月20日	公開研究会	「米墨国境地帯の軍事化と移動へのジェンダー・インパクト」 【講師】ラファエル・アラルコン／北部国境大学院大学（メキシコ）教授 【司会】伊藤るり／お茶の水女子大学教授
A2	平成15年9月27日	研究会	「在日フィリピン人の送金の現状と課題」 【講師】イサベリータ・マナラスタス／フィリピンナショナル銀行東京支店長 【司会】足立真理子／大阪女子大学女性学研究センター教授・お茶の水女子大学ジェンダー研究センター研究協力員
A2	平成15年10月25日	公開研究会	「アジアにおける国際移動とジェンダー配置」研究会第3回 【講師】安里和晃／日本学術振興会特別研究員・龍谷大学「アジアにおける外国人家事労働者の処遇に関する国際比較」 【講師】高畑幸／日本学術振興会特別研究員・大阪市立大学「在日フィリピン人の相互扶助活動と文化継承のこころみ」 【討論者】足立真理子／大阪女子大学女性学研究センター教授・お茶の水女子大学ジェンダー研究センター研究協力員 【討論者】小ヶ谷千穂／日本学術振興会特別研究員・一橋大学 【司会】伊藤るり／お茶の水女子大学教授
A2	平成16年1月23日	公開研究会	「アジアにおける国際移動とジェンダー配置」研究会第4回 【報告】徳永理彩（一橋大学大学院博士後期課程）“Outsourcing Care Work: the Case of Migrant Women in Malaysia” 【報告】山中啓子／カリフォルニア大学バークレー校社会変動研究所 “Gendered Migration, Entitlements and Civil Action in Asia” 【司会】伊藤るり／お茶の水女子大学教授
A2	平成16年1月24～25日	若手中心型国際ワークショップ	International Workshop for Junior Scholars（若手研究者支援のための国際ワークショップ）、Migrant Domestic/Care Workers and the Reconfiguration of Gender in Asia（アジアにおける移住家事・介護労働者とジェンダー再配置） 【講師】Brenda Yeoh（National University of Singapore） 【講師】Shirlena Huang（National University of Singapore） 【報告】安里和晃／日本学術振興会特別研究員・龍谷大学 【報告】安藤まどか／COE事務局非常勤職員・お茶の水女子大学 【報告】小ヶ谷千穂／日本学術振興会特別研究員・一橋大学 【報告】Femina Sagita Borualogo／東京都立大学大学院博士後期課程 【報告】Brenda Tenegra／お茶の水女子大学大学院博士後期課程 【報告】越智方美／COE研究員・お茶の水女子大学大学院博士後期課程 【報告】酒井千絵／日本学術振興会特別研究員・東京大学 【アドバイザー】足立真理子／大阪女子大学女性学センター 【アドバイザー】伊藤るり／お茶の水女子大学ジェンダー研究センター 【アドバイザー】稲葉奈々子／茨城大学人文学部 【アドバイザー】山中啓子／カリフォルニア大学バークレー校、他
B/ パネル	平成15年9月18日	研究会	「インドネシアのジェンダー統計システムの構築とその課題—インドネシア女性エンパワメント省での援助活動」 【講師】大竹美登利／東京学芸大学教授・お茶の水女子大学 COE 客員研究員 【司会】御船美智子／お茶の水女子大学教授
B/ パネル	平成15年9月20日	研究会	「アジアにおけるジェンダー関連のマイクロデータとその利用」 【報告】小島宏／国立社会保障・人口問題研究所国際関係部長 【司会】永瀬伸子／お茶の水女子大学助教授
B/ パネル	平成15年9月20日	研究会	「中国のパネル調査の可能性について」 【講師】溝口由己／財団法人家計経済研究所研究員
B/ パネル	平成15年10月22日	研究会	パネル調査「家族・仕事・家計の国際比較分析研究会」第1回 【報告】永瀬伸子／お茶の水女子大学助教授「問題提起と今後の予定」 【報告】石塚浩美／お茶の水女子大学 COE 研究員

企画	年 月 日	形 態	テーマ、報告者、評者等
B/ パネル	平成15年10月22日	研究会	【報告】竹沢純子／お茶の水女子大学 COE 研究員・お茶の水女子大学大学院博士後期課程「ジェンダー統計と公開マイクロデータ」 【報告】金恵媛／立教大学講師 国別研究1・韓国（1）「高齢者の生活と扶養意識についての日韓比較」 【司会・討論者】篠塚英子／お茶の水女子大学教授
B/ パネル	平成15年11月7日	研究会	パネル調査「家族・仕事・家計の国際比較分析研究会」第2回 【報告】喬暁春／中国・人民大学元人口研究所長 Gender and Family Issues in Urban and Rural China 【司会】永瀬伸子／お茶の水女子大学助教授
B/ パネル	平成15年11月19日	研究会	パネル調査「家族・仕事・家計の国際比較分析研究会」第3回 【講師】丸川知雄／東京大学社会科学研究所助教授
B/ パネル	平成15年11月19日	研究会	パネル調査「家族・仕事・家計の国際比較分析研究会」第4回 【講師】鄭暉暉／総合地球環境学研究所助教授
B/ パネル	平成15年12月10日	研究会	パネル調査「家族・仕事・家計の国際比較分析研究会」第5回 【講師】村上直樹／東京都立大学教授「中国の企業の実態と調査・分析：10年間の変化と現状」
B/ パネル	平成16年2月10日	公開研究会	「パネルデータ分析入門」〈第一部〉 【テーマ】パネル調査の実施と分析について―「消費生活に関するパネル調査」(財)家計経済研究所を通じて― 【講師】溝口由己／新潟大学経済学部助教授
B/ パネル	平成16年2月18日	公開研究会	「パネルデータ分析入門」〈第二部①②〉 【テーマ】パネルデータ分析に先立ち学ぶべき統計分析手法 【講師】蓑谷千鳳彦／慶応義塾大学経済学部教授 【テキスト】Gujarati, D.N., <i>Basic Econometrics</i> , 4th ed., McGraw-Hill Higher Education, 2003. (15章&16章)
B/ パネル	平成16年2月23日	公開研究会	「パネルデータ分析入門」〈第二部③〉 【テーマ】パネルデータ分析に先立ち学ぶべき統計分析手法 【講師】蓑谷千鳳彦／慶応義塾大学経済学部教授 【テキスト】Gujarati, D.N., <i>Basic Econometrics</i> , 4th ed., McGraw-Hill Higher Education, 2003. (15章&16章)
B/ パネル	平成16年2月27日	公開研究会	「パネルデータ分析入門」〈第二部④〉 【テーマ】パネルデータ分析に先立ち学ぶべき統計分析手法 【講師】蓑谷千鳳彦／慶応義塾大学経済学部教授 【テキスト】Gujarati, D.N., <i>Basic Econometrics</i> , 4th ed., McGraw-Hill Higher Education, 2003. (15章&16章)
C2	平成15年10月29日	公開研究会	「科学技術史・科学技術政策とジェンダー」第1回 【報告】小川眞里子／三重大学教授・お茶の水女子大COE客員研究員「EUの科学技術政策とジェンダー（1）」 【司会】館かおる／お茶の水女子大学教授
C2	平成16年1月27日	公開研究会	「シービング研究会」第3回 【報告】弓削尚子／早稲田大学法学部助教授「18世紀における知とジェンダー」 【司会】館かおる／お茶の水女子大学教授
C2	平成16年2月21日	国際シンポジウム	「科学技術政策とジェンダー Gender Mainstreaming Policy in Science and Technology」 【基調講演】ニコル・ドゥワンドル／ヨーロッパ連合研究総局「女性と科学」部長「ヨーロッパの科学研究におけるジェンダー平等の推進」 【パネルディスカッション】「科学技術分野におけるジェンダー主流化政策をめぐって」 【パネリスト】藤垣裕子／東京大学助教授 【パネリスト】都河明子／東京医科歯科大学教授 【パネリスト】小館香椎子／日本女子大学教授 【パネリスト】守屋朋子／富士通 SSL 取締役
C2	平成15年10月21日	公開研究会	「シービング研究会」第1回 【テキスト】ロンダ・シービング『ジェンダーは科学を変える!』（小川眞里子・東川佐枝美・外山浩明訳、工作舎、2002年）「第七章 霊長類学、考古学と人類の起源」

企画	年月日	形態	テーマ、報告者、評者等
C2	平成15年10月21日	公開研究会	【報告】丹野さきら／お茶の水女子大学大学院博士後期課程 【司会】箱かおる／お茶の水女子大学教授
C2	平成15年11月22日	公開研究会	「科学技術史・科学技術政策とジェンダー」第2回 【報告】小川真里子／三重大学教授・お茶の水女子大学 COE 客員研究員「EUにおける女性と科学政策 その2 —ETANレポートを中心に—」 【報告】吉祥瑞枝／サイエンス コミュニケーター・東邦大学大学院理学研究科講師 「産業界における女性研究者のデータ分析とベルリン国際会議(2003年10月10日開催)の報告」 【司会】箱かおる／お茶の水女子大学教授
C2	平成15年11月28日	公開研究会	「シーピンガー研究会」第2回 【テキスト】ロンダ・シーピンガー『ジェンダーは科学を変える!』(小川真里子・東川佐枝美・外山浩明訳、工作舎、2002年)「第九章 物理学と数学」 【報告】森義仁／お茶の水女子大学助教授 【司会】箱かおる／お茶の水女子大学教授
C2	平成15年12月13日	公開研究会	「科学技術史・科学技術政策とジェンダー」第3回 【報告】小川真里子／三重大学教授・お茶の水女子大学 COE 客員研究員「ロンダ・シーピンガーの科学史・科学政策研究」 【司会】箱かおる／お茶の水女子大学教授
C3	平成15年10月29日	公開研究会	「ポストゲノム時代における生物医学とジェンダー」第1回 【報告】柘植あづみ／明治学院大学教授・お茶の水女子大学客員教授 【講師】増井徹／国立医薬品食品衛生研究所 テキスト「ゲノム研究の時代、アイスランド、イギリス、そして日本」『世界』11月号所収
C3	平成15年11月19日	公開研究会	「ポストゲノム時代における生物医学とジェンダー」第2回 【報告】仙波由加里／お茶の水女子大学 COE 研究員
C3	平成15年12月17日	公開研究会	「ポストゲノム時代における生物医学とジェンダー」第3回 【報告者】武藤香織／信州大学医学部保健学科講師
C3	平成16年1月10日	国際シンポジウム	「遺伝子・身体・女と政治—ポスト・ヒトゲノムプロジェクト時代の科学・医学をジェンダーで再考する」 【報告】Rayna Rapp／ニューヨーク大学教授 【報告】Margaret Sleeboom／ライデン大学アジア研究所研究員 【討論者】加藤秀一／明治学院大学社会学部教授 【討論者】増井徹／国立医薬品食品衛生研究所 【討論者】松原洋子／立命館大学大学院先端総合学術研究科教授 【司会】柘植あづみ／明治学院大学教授・お茶の水女子大学客員教授
C3	平成16年2月18日	公開研究会	「ポストゲノム時代における生物医学とジェンダー」第4回 【討論】1月10日の国際シンポジウム「遺伝・身体・女性と政治—ポスト・ヒトゲノム時代の科学・医学をジェンダーで再考する」での内容を中心に討論
C3	平成16年3月17日	公開研究会	「ポストゲノム時代における生物医学とジェンダー」第5回 【報告】柘植あづみ／明治学院大学社会学部「妊娠と出生前検査に関する女性の意識と行動—都内380通のアンケート調査結果から」
C3	平成16年1月6～8日	若手ワークショップ	「生物医学・科学のジェンダー分析」若手研究者のための英語によるワークショップ 【報告】仙波由加里／お茶の水女子大学 COE 研究員、他の研究報告者の若手研究者は公募 【アドバイザー】Rayna Rapp／ニューヨーク大学教授 【アドバイザー】Margaret Sleeboom／ライデン大学アジア研究所研究員 【アドバイザー】武藤香織／信州大学医学部保健学科講師 【アドバイザー】柘植あづみ／明治学院大学教授・お茶の水女子大学客員教授
C4	平成15年12月18日	公開研究会	『「開発」と「性と生殖の健康／権利」』 【報告】奥村礼子／大阪大学大学院博士後期課程「アジアの難民問題とリプロダクティブ・ヘルス」 【報告】谷口真由美／お茶の水女子大学 COE 客員研究員「アジアにおける10代女性の妊娠に関する調査の概要と計画」 【司会】原ひろ子／放送大学大学院教授

企画	年 月 日	形 態	テーマ、報告者、評者等
C6	平成16年1月24日	研究会	「健康／セクシュアリティとジェンダー」 【報告】 齊藤正美／お茶の水女子大学 COE 研究員
C6	平成16年2月21日	研究会	「健康／セクシュアリティとジェンダー」 【報告】 朝倉京子／新潟県立看護大学助教授 【報告】 澤田佳世／津田塾大学大学院博士課程
C6	平成16年3月13日	研究会	「健康／セクシュアリティとジェンダー」 【報告】 浮ヶ谷幸代／千葉大学非常勤講師 【報告】 田口亜紗／成城大学大学院博士課程
C6	平成15年11月8日	公開 ワークショップ	「健康／セクシュアリティ概念のジェンダー分析」 【発表者】 朝倉京子／新潟県立看護大学助教授「看護学領域におけるセクシュアリティ概念」 【コメンテーター】 高橋都／東京大学大学院医学系研究科助手 【発表者】 藤掛洋子／お茶の水女子大学大学院博士後期課程「『開発』におけるリプロダクティブ・ヘルス／ライツ」 【コメンテーター】 村田陽平／京都大学博士課程 【発表者】 菅野摂子／立教大学博士後期課程「医療領域における『出生前検査』と『自己決定』」 【コメンテーター】 田中俊之／武蔵大学博士後期課程 【司会】 根村直美／日本大学助教授・お茶の水女子大学 COE 客員研究員
C6	平成15年12月13日	研究会	「健康／セクシュアリティとジェンダー」 【報告】 藤田智子／お茶の水女子大学大学院博士後期課程
D	平成15年9月22日	講演会	「メキシコの女性とフォークアート」 【講師】 エリ・バルトラ／メキシコ市立自治大学教授 【司会】 天野知香／お茶の水女子大学助教授 【討論者】 大村香苗／お茶の水女子大学博士後期課程 【通訳】 伊藤るり／お茶の水女子大学教授
D	平成15年10月6日	講演会	トリン・T・ミンハ新作映画上映会&講演会 【講師】 トリン T・ミンハ／カリフォルニア大学バークレー校教授 【コメント】 小林富久子／早稲田大学教授・お茶の水女子大学客員教授 【司会】 竹村和子／お茶の水女子大学教授 【通訳】 吉川純子／武蔵大学助教授・お茶の水女子大学 COE 客員研究員
D	平成15年11月15日	シンポジウム	「ジェンダー研究の理論と表象分析のいまー国家・資本・表象の共謀と攻防」 【報告】 天野知香／お茶の水女子大学助教授 【報告】 牟田和恵／大阪大学助教授 【報告】 吉見俊哉／東京大学教授 【報告】 大橋洋一／東京大学教授 【討論者】 荻野美穂／大阪大学助教授；キース・ヴィンセント／ニューヨーク大学助教授 【司会・発題】 竹村和子／お茶の水女子大学教授
D	平成15年11月18日	講演会	「ホモソーシャルリティと日本近代文学」 【講師】 キース・ヴィンセント／ニューヨーク大学 【司会】 菅聡子／お茶の水女子大学助教授
D	平成15年11月21日	講演会	「セクシュアリティ研究と文学研究」 【講師】 キース・ヴィンセント／ニューヨーク大学 【司会】 竹村和子／お茶の水女子大学教授
D	平成16年1月20日	公開研究会	「ポスト国家／ポスト家族」言説のフロントー上野・西川・春日・竹村論文をめぐる応答ー 【応答者・再応答者】 上野千鶴子／東京大学 コメント：山根 純佳／東京大学大学院博士課程 西川祐子／京都文教大学 コメント：祐成保志／東京大学大学院博士課程 春日キスヨ／安田女子大学 コメント：荒井歩／東京大学大学院修士課程 竹村和子／お茶の水女子大学 コメント：井川ちとせ／お茶の水女子大学大学院博士課程 【司会】 菅聡子／お茶の水女子大学

企画	年 月 日	形 態	テーマ、報告者、評者等
D	平成16年3月10日	講演会	「戦争とジェンダー」 【講師】小森陽一／東京大学教授 【コメンテーター】高橋修／共立女子短期大学教授 【司会】菅聡子／お茶の水女子大学助教授
D	平成16年3月17日	公開研究発表会	「マッチョな男と金欠女はどこへ行く？—ポストコロニアルな文化地勢」 【発表者】越智博美／一橋大学・お茶の水女子大学 COE 客員研究員「南部の男、西部へ— 『ヴァージニアン』／共和国／男の身体」 【発表者】小林英里／お茶の水女子大学大学院・COE (RA)「女が帝都を歩くとき—リースとウルフの“部屋”」 【コメンテーター】折島正司／東京都立大学 【コメンテーター】中井亜佐子／一橋大学 【司会】竹村和子／お茶の水女子大学
D	平成16年3月17日	講演会	「父の娘と母の娘と 田嶋陽子、〈学問/感性/政治〉を斬る」 【講師】田嶋陽子
連携	平成15年10月17日	研究会	「アジア認識とジェンダー」第1回 【テキスト】「植民地として作られたアジア」『アジア新世紀2 歴史』(岩波書店、2003) 【報告】金富子／お茶の水女子大学 COE 研究員 【報告】秋林こずえ／お茶の水女子大学ジェンダー研究センター研究機関研究員ほか
連携	平成15年12月1日	公開研究会	「アジア認識とジェンダー」第2回 【テキスト1】孫歌『アジアを語ることのジレンマ』(岩波書店、2002) 【テキスト2】馬立誠「対日関係の新思考」『反日からの脱却』(中央公論新社、2003) 【報告】小浜正子／鳴門教育大学助教授 【報告】周一川／お茶の水女子大学 COE 研究員 【司会】館かおる／お茶の水女子大学教授
連携	平成15年12月25日	公開研究会	「アジア認識とジェンダー」第3回 【報告】徐阿貴／お茶の水女子大学 COE 研究員 【テキスト】タニ・バーロウ著、徐・結城訳「ジェンダーと学術研究—アジアの再地域化を目指して」『アジア新世紀3 アイデンティティ』(岩波書店、2002) 【司会】館かおる／お茶の水女子大学教授
連携	平成16年2月18日	公開研究会	「アジア認識とジェンダー」第4回 【テキスト1】「捕虜たちはなぜ『和解』に領けないか：英国捕虜・元抑留者問題における齟齬の構図」(『現代思想』2000年11月号、青土社) 【テキスト2】「失われた声を求めて」(『現代思想』2001年5月号) 【報告】：中尾知代／岡山大学助教授 【司会】館かおる／お茶の水女子大学教授
連携	平成16年3月6日	講演会	「戦争体験とジェンダー—北東アジアの女性口述史研究から」 【講師】李小江／大連大学性別研究センター長・お茶の水女子大学ジェンダー研究センター外国人客員教授 【コメンテーター】成田龍一／日本女子大学教授 【コメンテーター】加納実紀代／敬和学園大学教員

1. 人事関係

1) 運営委員会名簿 (括弧内は在任期間)

ジェンダー研究センター長(併)	波平恵美子	(平成12年4月1日～平成16年3月31日)
文教育学部教授	石塚 道子	(平成14年4月1日～平成16年3月31日)
文教育学部助教授	坂本佳鶴恵	(同上)
理学部教授	前田ミチエ	(同上)
理学部助教授	古川はづき	(同上)
生活科学部教授	駒城 素子	(同上)
生活科学部教授	戒能 民江	(同上)
文教育学部教授	米田 俊彦	(同上)
人間文化研究科教授	竹村 和子	(同上)
ジェンダー研究センター教授	伊藤 るり	(平成12年4月1日～)
ジェンダー研究センター教授	河野貴代美	(平成14年11月1日～)
ジェンダー研究センター教授	舘 かおる	(平成8年5月11日～)

2) スタッフ名簿 (括弧内は在任期間)

センター長(併)	波平恵美子	(平成12年4月1日～)
専任教授	伊藤 るり	(平成12年4月1日～)
	河野貴代美	(平成14年11月1日～)
	舘 かおる	(平成8年5月11日～)
外国人客員教授	何 春蕤 (Josephine Chuen-juei Ho)	(台湾中央大学英語学部教授兼性別研究センター所長) (平成15年4月4日～平成15年9月9日)
	戴 錦華	(中国、北京大学教授) (平成15年9月22日～平成15年12月22日)
	李 小江	(中国、大連大学教授) (平成15年12月23日～平成16年3月22日)
客員教授(国内)	川嶋 瑤子	(スタンフォード大学「女性とジェンダー研究所」研究員) (平成15年4月1日～平成16年3月31日)
	小林富久子	(早稲田大学教授) (同上)
	秋山 洋子	(駿河台大学教授) (同上)

非常勤講師	柘植あづみ (明治学院大学教授) (同上)
	大西 祥世 (平成15年4月1日～平成16年3月31日)
	原 ひろ子 (同上)
研究員	戒能 民江 (生活科学部教授) (平成15年4月1日～平成16年3月31日)
	竹村 和子 (人間文化研究科教授) (同上)
	宮尾 正樹 (文教育学部教授) (同上)
研究協力員	朝倉 京子 (新潟県立看護大学助教授) (平成15年4月14日～平成16年3月31日)
	足立真理子 (大阪女子大学教授) (同上)
	稲葉奈々子 (茨城大学人文学部助教授) (同上)
	浮ヶ谷幸代 (千葉大学非常勤講師) (同上)
	遠藤 みち恵 (同上) (フェミニストセラピー「なかま」主任カウンセラー)
	大海 篤子 (立教大学非常勤講師) (同上)
	小山 直子 (お茶の水女子大学 COE 客員研究員) (平成15年9月1日～平成16年3月31日)
	小柳 茂子 (相模女子大学助教授) (平成15年4月14日～平成16年3月31日)
	川喜田好恵 (大阪府立女性総合センターコーディネーター) (同上)
	川添 裕子 (放送大学、千葉大学ほか非常勤講師) (同上)
	黒川 知美 (芝浦工業大学非常勤講師) (同上)
	酒井 順子 (エセックス大学歴史学部研究員) (同上)
	申 琪榮 (ワシントン大学博士課程) (同上)
	田澤 薫 (尚綱学院大学女子短期大学部助教授) (同上)
	中山まき子 (鳴門教育大学助教授) (同上)

	長妻由里子 (高知女子大学専任講師)	(同上)
	根村 直美 (日本大学助教授)	(同上)
	前田 侯子 (本学名誉教授)	(同上)
	松田 久子 (元理化学研究所非常勤職員)	(同上)
	廣重(三木)壽子 (横浜市立大学木原生物学研究所研究員)	(同上)
	村田 陽平 (京都大学大学院文学研究科博士課程)	(同上)
	森本 恭代 (実践女子短期大学非常勤講師)	(同上)
	山崎美和恵 (埼玉大学名誉教授)	(同上)
	荒木乳根子 (田園調布学園大学教授)	(平成15年10月1日～平成16年3月31日)
研究機関研究員	秋林こずえ	(平成15年4月1日～平成16年3月31日)
研究支援推進員	小山 直子	(平成15年4月1日～平成15年8月31日)
	原田 雅史	(平成15年9月26日～平成16年3月31日)
教務補佐員	造力 由美	(平成14年4月1日～平成15年3月31日)
	竹内 ゆり	(同上)
	花岡ナホミ	(同上)
	長谷川和美	(同上)

2. 会議関係

〈運営委員会の開催〉

平成15年4月14日／5月19日／6月12日／7月14日／9月16日／10月14日／11月17日／12月8日／平成16年1月19日／2月9日／3月11日

3. 研究調査活動

1) センター共同研究プロジェクト

「東アジアにおける植民地的近代とモダンガール」研究

〈国際共同研究〉〈科学研究費基盤研究 A〉

〔研究担当〕

館 かおる (ジェンダー研究センター教授)

伊藤 るり (ジェンダー研究センター教授)

足立真理子 (ジェンダー研究センター研究協力員・大阪女子大学教授)

佐藤バーバラ (成蹊大学教授)
 牟田 和恵 (大阪大学助教授)
 洪 郁如 (明星大学専任講師)
 小檜山ルイ (東京女子大学助教授)
 何 璋 (本学人間文化研究科博士後期課程)
 タニ・バーロウ (ワシントン大学教授)
 ヴェラ・マッキー (カーティン工科大学教授)
 戴 錦華 (ジェンダー研究センター外国人客員教授・北京大学教授)
 金 恩實 (キム・ウンシル) (梨花女子大学准教授)
 ワシントン大学「Modern Girl Around the World」プロジェクトメンバー
 森本 恭代 (ジェンダー研究センター研究協力員・科研費研究支援者)

〔研究内容〕

①1920年代、30年代のモダンガール現象に関する文献の収集、聞き取り調査を行った。

②Moga 研究会を開催した。

5月25日(日) ヴェラ・マッキー「The Modern Girl in Visual Culture」、バーバラ佐藤「日本のモダンガールの多元的アイデンティティ」、洪郁如「台湾から見たモダンガールと植民地的近代」の報告。

7月5日(土) 玉利智子(ノッティンガム大学)「日本における百貨店の文化的機能とジェンダー・アイデンティティの形成—百貨店女性店員にみる近代都市文化と百貨店の社会史」、磯山久美子(本学大学院人間文化研究科博士課程)「1920年代スペインにおける女性の断髪—『快適さ』の獲得」、何璋「『婦女雑誌』にみる1920年代中国社会の『新婦女』」の報告。

9月28日(日) キム・ウンシル「グローバル化時代におけるコロニアル・モダニティ研究の方法論的諸問題をめぐって」、足立真理子「奢侈と資本とモダンガール—資生堂企業史研究」の報告。

12月19日(金)～21日(日) 静岡県掛川市にてワークショップ開催。

資生堂企業資料館見学。

牟田和恵「日本における『新しい女』と『モガ』という二つの像、概念の関係」、ヴェラ・マッキー「日本の風刺漫画におけるモガの身体」、宮城晴美(那覇市歴史資料室)「沖縄の近代における〈女性〉主体の諸問題」、伊藤るり「戦後沖縄の女性向け雑誌『沖縄婦人之友』に関する予備的考察」、アンジェリーナ・

チン（カリフォルニア大学サンタクルーズ校 Ph.D. candidate）「1930年代広州における都市部サービス雇用への女性労働者の参入と美の消費」、戴錦華「中国における〈近代〉の異なる意味とモダンガール」、タニ・バーロウ「中国における優生学的女性、半植民地主義、植民地的近代」の報告。

- ③伊藤るり、森本恭代が『ジェンダー研究』第7号に研究プロジェクト報告「国際共同研究『東アジアにおける植民地的近代とモダンガール』」を執筆した。

「国際移動とジェンダー」に関する研究

〔研究担当〕

伊藤 るり（ジェンダー研究センター教授）

足立真理子（ジェンダー研究センター研究協力員・大阪女子大学教授）

稲葉奈々子（ジェンダー研究センター研究協力員・茨城大学助教授）

酒井 順子（ジェンダー研究センター研究協力員・エセックス大学研究員）

徐 阿貴（本学人間文化研究科博士後期課程）

柳 蓮淑（本学人間文化研究科博士後期課程）

ブレンダ・テネグラ（本学人間文化研究科博士後期課程）

〔研究内容〕

- ①「国際移民とジェンダー（IMAGE）」研究会を開催した。
4月6日（日） 足立真理子による「フェミニズムで読む『帝國』」の報告
4月15日～29日 APMRN（Asian Pacific Migration Research Network）/UNESCO プロジェクト「移住労働者とその家族の権利保護条約の批准状況をめぐる7ヵ国調査」への調査協力（Nicola Piper, オーストラリア国立大学）
5月17日（土） Yuh Ji-Yeon（ノースウェスタン大学歴史学部準教授）による「在外コリアン研究の動向」の報告
7月13日（日） 小林淳子（本学大学院人間文化研究科博士前期課程）による「フランスの北アフリカ系移民の娘たちに関するゲニフ・スイラマスの研究をめぐって」の報告
11月29日（土）～30日（日） 第4回合宿 八王子セミナーハウス 科研費報告書作成に向けて報告・検討会
12月10日（水）～13日（土） インド・デリー大学国際会議 “Women and Migration in Asia”（University of

Delhi, Developing Countries Research Centre）に伊藤るりが基調講演者として、小ヶ谷千穂、徐阿貴、ブレンダ・テネグラが報告者として参加

平成16年

1月23日（金） F-GENS / A2研究会との合同研究会

徳永理彩（一橋大学大学院博士後期課程）による“Outsourcing Care Work: the Case of Migrant Women in Malaysia”の報告、山中啓子（カリフォルニア大学バークレー校）による“Gendered Migration, Entitlement and Civil Action in Asia”（draft prepared for the United Nations Research Institute for Social Development）の報告。

②海外及び国内でのインタビュー調査実施

「ジェンダーで読む健康／セクシュアリティ」研究

〔研究担当〕

ジェンダーと健康（GHS）研究会メンバー

根村 直美（ジェンダー研究センター研究協力員・日本大学助教授）

柘植あづみ（ジェンダー研究センター客員教授・明治学院大学教授）

田澤 薫（ジェンダー研究センター研究協力員・尚絅学院大学女子短期大学部助教授）

中山まき子（ジェンダー研究センター研究協力員・鳴門教育大学助教授）

朝倉 京子（ジェンダー研究センター研究協力員・新潟県立看護大学助教授）

浮ヶ谷幸代（ジェンダー研究センター研究協力員・千葉大学非常勤講師）

川添 裕子（ジェンダー研究センター研究協力員・放送大学、千葉大学ほか非常勤講師）

村田 陽平（ジェンダー研究センター研究協力員・京都大学大学院博士後期課程）

原 ひろ子（ジェンダー研究センター非常勤講師・放送大学教授）

大井 玄（独立行政法人国立環境研究所参与）

高橋 都（東京大学大学院医学系研究科助手）

土井 真知（内閣府男女共同参画局暴力対策専門官）

東 優子（ノートルダム清心女子大学助教授）

兵藤 智佳（国連人口開発研究員・早稲田大学アジア太平洋研究センター客員研究員）

菅野 節子（立教大学大学院博士課程）

澤田 佳世（津田塾大学大学院博士課程）

田口 亜紗 (成城大学大学院博士課程)
 田中 俊之 (武蔵大学大学院博士課程)
 藤掛 洋子 (本学大学院人間文化研究科博士後期課程)
 藤田 智子 (本学大学院人間文化研究科博士後期課程)
 齊藤 正美 (本学 COE 研究員・富山大学非常勤講師)

〔研究内容〕

①「ジェンダーと健康 (GHS) 研究会」を開催した。於：附属図書館第二会議室。

5月10日 (土) 今後の方針と体制についての話し合い

6月28日 (土) 齊藤正美 (富山大学非常勤講師) による「近年のフェミニズム理論の動向と GHS 研究—ポスト構造主義フェミニズム理論を軸に」の報告、田口亜紗 (成城大学大学院博士課程) による「生理休暇の誕生」の報告。

9月6日 (土) 田中俊之 (武蔵大学大学院博士課程) による「男性性の社会学における『買春』という問い」の報告。

10月4日 (土) 村田陽平 (京都大学大学院博士課程) による「現代のたばこ広告にみる男性の身体と空間」の報告。

12月13日 (土) 藤田智子 (本学大学院人間文化研究科博士後期課程) による「青年期における身体像の認知に関する考察」の報告。

平成16年

1月24日 (土) 齊藤正美 (富山大学非常勤講師) による「ジェンダー概念の展開とジェンダー・パースペクティブ」の報告。

2月21日 (土) 朝倉京子 (新潟県立看護大学) による「看護学におけるジェンダー／フェミニスト・パースペクティブ」の報告、澤田佳世 (津田塾大学大学院博士課程) による「女たちが紡いだりプロダクティブ・ヘルスの歩み——米軍統治下沖縄の助産婦による家族計画普及活動」の報告。

3月13日 (土) 浮ヶ谷幸代 (千葉大学非常勤講師) による「現代日本における性差医療と更年期世代の生き方についての研究序説——日本における『ジェンダーの人類学』と『健康／セクシュアリティとジェンダー研究』／『ジェンダー・パースペクティブ』との接点、あるいはその接合可能性」の報告、田口亜紗 (成城大学大学院博士課程) による「『重い生理』を語る場所——月経をめぐる文化人類学的試論」の報告。

②11月8日 (土) 若手ワークショップ (本学 COE との共

催)。

於：人間文化研究科棟6階大会議室 (13:30~17:00)。

発表：朝倉京子 (新潟県立看護大学助教授)

「看護学領域におけるセクシュアリティ概念」

コメンテーター：高橋都 (東京大学大学院医学系研究科助手)

発表：藤掛洋子 (本学人間文化研究科博士後期課程)

「『開発』におけるリプロダクティブ・ヘルス／ライツ」

コメンテーター：村田陽平 (京都大学大学院博士課程)

発表：菅野摂子 (立教大学大学院博士後期課程)

「医療領域における『出生前検査』と『自己決定』」

コメンテーター：田中俊之 (武蔵大学大学院博士後期課程)

司会：根村直美 (日本大学助教授)

『女性のメンタルヘルスの支援システム・環境の見直しと構築の研究』

〔研究担当〕

河野貴代美 (ジェンダー研究センター教授)

竹村 和子 (ジェンダー研究センター研究員・本学人間文化研究科教授)

川喜田好恵 (ジェンダー研究センター研究協力員・大阪府立女性総合センターコーディネーター)

小柳 茂子 (ジェンダー研究センター研究協力員・相模女子大学助教授)

遠藤みち恵 (ジェンダー研究センター研究協力員・フェミニストセラピィ “なかま” カウンセラー)

大野 曜 (国立女性教育会館理事長)

桜井 陽子 (横浜女性フォーラム館長)

榊原佐和子 (めだかメンタルクリニック)

井上 直美 (本学生活科学部生)

〔研究内容〕

①札幌市、北九州市、福岡市、名古屋市周辺にて地域社会におけるソーシャル・サポートシステムの訪問聞き取り調査を実施した。

②女性センター、民間開業ルーム、女性相談所、NPO 法人への質問紙調査を実施した。

③メンタルヘルス研究会を開催した。

4月11日 (金)、5月27日 (火)、7月29日 (火)、8月24日 (日)、10月14日 (火)、12月23日 (火)、平成16年3月15日 (月)

④調査票調査準備のための合宿を行なった。

7月12日 (土)・13日 (日) 於：国立女性教育会館

「映像表現とジェンダー」に関する研究

〔研究担当〕

小林富久子（ジェンダー研究センター客員教授・早稲田大学
教授）

館 かおる（ジェンダー研究センター教授）

磯山久美子（本学人間文化研究科博士後期課程）

フェミニズムと現代思想「映像表現とジェンダー」研究会メ
ンバー

〔研究内容〕

①フェミニズムと現代思想「映像表現とジェンダー」研究会
を開催。於：附属図書館第二会議室（13：00～17：00）

4月25日（金）『非常時日本』ビデオ鑑賞。宜野座菜央見（カ
リフォルニア大学ロサンゼルス校博士課程）による
講演。

5月26日（月）ハーバード・ロス監督『ボーイズ・オン・ザ・
サイド』ビデオ鑑賞。寺沢香菜子（英ウォリック
大学フィルム&テレビジョン学部修士課程修了）に
よる「アメリカ映画『ボーイズ・オン・ザ・サイド』
における人種・セクシュアリティの表象—黒人レズ
ビアン、ジェーンの主体性をめぐって」の報告。

7月25日（金）黄蜀芹監督『舞台女優』ビデオ鑑賞。アンニ
（法政大学非常勤講師）による「第五世代以後の中国
映画とジェンダー」の報告。

平成16年

1月27日（金）カリン・クサマ監督『ガールファイト』ビデ
オ鑑賞。吉田俊実（東京工科大学バイオニクス学部
助教授）による「Female Masculinity in *Girlfight*
(2000)」の報告。

②お茶の水女子大学ジェンダー研究センター/富山太佳夫・小
林富久子・館かおる編『フェミニズムと知』世織書房の刊
行に向け、執筆・編集作業を行なった。（成果刊行）

「大学教育とジェンダーⅣ」に関する研究

〔研究担当〕

川嶋 瑤子（ジェンダー研究センター客員教授）

館 かおる（ジェンダー研究センター教授）

黒川 知美（ジェンダー研究センター研究協力員・芝浦工業
大学非常勤講師）

〔研究内容〕

①アメリカ合衆国の大学統計との比較検討を行ない、川嶋瑤
子・館かおる編『大学教育とジェンダー』刊行（東信堂）

に向け、執筆・編集作業を行なった。

「女性と自然科学」に関する研究

〔研究担当〕

前田 侯子（ジェンダー研究センター研究協力員・本学名誉
教授）

松田 久子（ジェンダー研究センター研究協力員・元理化学
研究所非常勤職員）

山崎美和恵（ジェンダー研究センター研究協力員・埼玉大学
名誉教授）

廣重(三木) 壽子（ジェンダー研究センター協力員・横浜市立
大学木原生物学研究所研究員）

館 かおる（ジェンダー研究センター教授）

小山 直子（ジェンダー研究センター研究支援推進員）

〔研究内容〕

①保井コノ資料の整理及び研究。

②湯浅年子資料の内、物理学研究以外の業績の整理及び研究。

③前田侯子が『ジェンダー研究』第7号に「加藤セチ博士の
研究と生涯—スペクトルの物理化学的解明を目指して—」
を執筆した。

「大学におけるセクシュアルハラスメント」に関する研究

〔研究担当〕

戒能 民江（ジェンダー研究センター研究員・本学生活科学
部教授）

大西 祥世（ジェンダー研究センター非常勤講師）

上田 智子（横浜市立大学非常勤講師）

吉川真美子（本学人間文化研究科博士後期課程）

田宮 遊子（本学人間文化研究科博士後期課程）

〔研究内容〕

①アメリカのキャンパスセクシュアル・ハラスメントに関す
る文献（Sandler, B. & Shoop, R. (eds.), 1997, *Sexual
Harassment on Campus*, MA :Allyn and Bacon）を講読
した。

②アメリカの大学におけるセクシュアル・ハラスメント防止
ガイドライン等の情報収集を行なった。

③アメリカのキャンパスセクシュアル・ハラスメントに関す
る判例を収集し、検討した。

④日本における取り組みへの提言についての検討を行なった。

⑤「キャンパス・セクシュアルハラスメント研究会」を開催
した。

平成15年4月21日(月)、6月11日(水)、9月19日(金)。

「ジェンダー研究文献のカテゴリー化」に関する研究

〔研究担当〕

小山 直子(ジェンダー研究センター研究支援推進員・本学
生活科学部非常勤講師)

館 かおる(ジェンダー研究センター教授)

〔研究内容〕

①増永良文(本学理学部教授)の「Web コミュニティの動的
分析手法を用いたジェンダー研究ポータルサイトの構築」
研究と連携。

国内外のジェンダー研究文献のデータベースを検討対象と
し、ジェンダー研究文献のカテゴリー化に関する研究を行
うとともに、データベース作成のためのシステムの研究を
行なった。

2) 外国人客員教授関連プロジェクト

「東アジアにおけるフェミニズムとジェンダー／セクシュア
リティ理論の課題」

〔研究担当〕

何 春蕤(ジェンダー研究センター外国人客員教授・台湾
国立中央大学教授)

伊藤 るり(ジェンダー研究センター教授)

河野貴代美(ジェンダー研究センター教授)

竹村 和子(ジェンダー研究センター研究員・本学人間文化
研究科教授)

宮尾 正樹(ジェンダー研究センター研究員・本学文教育学
部教授)

秋林こずえ(ジェンダー研究センター研究機関研究員)

長谷川和美(ジェンダー研究センター教務補佐員)

〔研究内容〕

①何春蕤教授が平成15年5月28日・6月4・18・27日・7月
4日の全5回「東アジアにおけるジェンダー／セクシュア
リティ理論と政治の諸課題」の夜間セミナーを行なった。
於：理学部3号館701室(18:30~20:30)。参加者のべ449
名。

5月28日(水)「ポルノグラフィと女性の性的主体性」

6月4日(水)「セックスワークにおけるセルフ・エンパワ
メントと職業的行為遂行性」

6月18日(水)「スパイス・ガールから援助交際へ」

6月27日(金)「反人身売買から社会的規律へ」

7月4日(金)「アイデンティティと身体化—トランスジェン
ダーを構築する」

②何春蕤教授が年報7号に“Trans-Sexuality: Bisexual For-
mations and the Limits of Categories”を執筆した。

「映画研究とジェンダー理論の交差」

〔研究担当〕

戴 錦華(ジェンダー研究センター外国人客員教授・北京
大学教授)

館 かおる(ジェンダー研究センター教授)

小林富久子(ジェンダー研究センター客員教授・早稲田大学
教授)

宮尾 正樹(ジェンダー研究センター研究員・本学文教育学
部教授)

秋林こずえ(ジェンダー研究センター研究機関研究員)

長谷川和美(ジェンダー研究センター教務補佐員)

何 璋(本学大学院人間文化研究科博士後期課程)

〔研究内容〕

①戴錦華教授が平成15年10月27日、11月6・12・19・26日の
全5回「映画にみるジェンダー化された『中国』—ポスト
冷戦時代の文化政治」の夜間セミナーを行なった。於：共
通講義棟2号館201室(18:30~21:00)。参加者のべ504
名。

10月27日(月)「『女』の物語：激変の歴史」

11月6日(木)「『扮演』の物語：女性主体の苦境」

11月12日(水)「『他者』の物語：主体・アイデンティティと
ジェンダー」

11月19日(水)「『物語』の中のもうひとつの物語：ポスト社
会主義時代のジェンダーと階級」

11月26日(水)「『男』の物語：ポスト冷戦時代の権力と歴史
記述の中のジェンダー・アイデンティティ」

「戦時下満州における日中女性の口述史：その方法と理論」

〔研究担当〕

李 小江(ジェンダー研究センター外国人客員教授・大連
大学教授)

館 かおる(ジェンダー研究センター教授)

秋山 洋子(ジェンダー研究センター客員教授・駿河台大学
教授)

宮尾 正樹(ジェンダー研究センター研究員・本学文教育学
部教授)

秋林こずえ(ジェンダー研究センター研究機関研究員)

長谷川和美 (ジェンダー研究センター教務補佐員)
何 璋 (本学大学院人間文化研究科博士後期課程)

〔研究内容〕

①李小江教授が平成16年1月28日、2月4・12・18日の全4回「グローバル化における通文化的ジェンダー研究の意義と方法—北東アジア女性口述生活史を事例として—」の夜間セミナーを行なった。於：理学部3号館701室(18:30~21:00)。参加者のべ186名。

1月28日(水)「理論的仮説：『プレ-グローバル化』問題から『グローバル化研究』を考える—なぜ行くか?どのように?何をなしとげたか?—」

2月4日(水)「〈方法1〉ジェンダー分析：階級/民族/国家を超えて—中国朝鮮族と南北KOREAの事例から—」

2月12日(木)「〈方法2〉口述インタビュー：生活/生存の質を省察する—北東アジア(中国、日本、韓国)農村女性の事例から—」

2月18日(水)「〈方法3〉立場の置きかえ：多元的文化の差異、衝突、選択を提示する—旧満州(日本植民地)時代の口述生活史を中心に—」

②平成16年3月6日(土)公開講演会(COEとの共催)。「戦争体験とジェンダー—北東アジアの女性口述史研究から—」

於：理学部3号館701室、参加者59名。

講演：李 小江教授

コメンテーター：成田 龍一(日本女子大学人間社会学部教授)

加納実紀代(敬和学園大学国際文化学科教員)

通訳：陳 蘇黔

『『グローバル化とジェンダー表象』成果刊行』

〔研究担当〕

ヴェラ・マッキー(平成13年度ジェンダー研究センター外国人客員教授・カーティン工科大学教授)

館 かおる(ジェンダー研究センター教授)

森本 恭代(ジェンダー研究センター研究協力員)

〔研究内容〕

①ヴェラ・マッキー教授の夜間セミナー記録集『グローバル化とジェンダー表象(シリーズ「国際ジェンダー研究」第2巻)』(御茶の水書房)を刊行した。(平成15年11月)

『『フェミニズムで探る軍事化と国際政治』成果刊行』

〔研究担当〕

シンシア・エンロー(平成14年度ジェンダー研究センター外国人客員教授・クラーク大学教授)

館 かおる(ジェンダー研究センター教授)

秋林こずえ(ジェンダー研究センター研究機関研究員)

長谷川和美(ジェンダー研究センター教務補佐員)

〔研究内容〕

①シンシア・エンロー教授の夜間セミナー記録集『フェミニズムで探る軍事化と国際政治』(御茶の水書房)刊行(平成16年予定)に向けて編集作業を行なった。

3) センター個人研究

『『視覚文化/身体/ジェンダー』

〔研究担当〕

長妻由里子(ジェンダー研究センター研究協力員・高知女子大学専任講師)

〔研究内容〕

『ジェンダー研究』に論文執筆に向け、写真による視覚表象の身体認識へ及ぼす影響、時代のイデオロギーとジェンダーとの関わりについて研究を行なった。

『『女性と選挙に関する研究』

〔研究担当〕

大海 篤子(ジェンダー研究センター研究協力員・法政大学大学院非常勤講師)

〔研究内容〕

①岐阜県、新潟県、富山県、岩手県などで女性模擬議会に関する調査、新潟県で女性の政治参加に関する調査を行なった。

②研究成果を日本選挙学会、アメリカ政治学会にて報告し、日本政治学会年報、日本選挙学会紀要に執筆した。

4) 学内共同研究プロジェクト

『『ジェンダー規範とその作用形態に関する研究』成果刊行』

〔研究担当〕

館 かおる(ジェンダー研究センター教授)

「女性とたばこ研究会」メンバー

〔研究内容〕

①館かおる編『女性とたばこの文化誌』(世織書房)の刊行

(平成16年予定) に向け編集作業を行なった。

5) 21世紀 COE プログラム

「ジェンダー研究のフロンティア<女><家族><地域><国家>
のグローバルな再構築―」

●プロジェクトA 政策と公正

A1 「アジアにおけるジェンダー政策とその評価に関する研究」

A2 「アジアにおける国際移動とジェンダー配置」

〔研究担当〕★：リーダー、☆：サブリーダー、___：事業推進担当者

★戒能 民江 (ジェンダー研究センター研究員・本学人間文化研究科人間発達科学専攻教授)

☆伊藤 るり (ジェンダー研究センター教授・本学人間文化研究科人間発達科学専攻教授)

熊谷 圭知 (本学人間文化研究科人間発達科学専攻助教授)

足立真理子 (ジェンダー研究センター研究協力員・人間文化研究科人間発達科学専攻非常勤講師・大阪女子大学教授)

●プロジェクトB 少子化とエコノミー

B1 「パネル調査の予備的研究と実践」

B2 「ジェンダー統計・ジェンダー指標」

B3 「少子化と雇用・時間・空間・貨幣のジェンダー平等」

〔研究担当〕★：リーダー、☆：サブリーダー

★永瀬 伸子 (本学人間文化研究科人間発達科学専攻助教授)

☆御船美智子 (本学人間文化研究科人間発達科学専攻教授)

水野 勲 (本学人間文化研究科人間発達科学専攻助教授)

篠塚 英子 (本学人間文化研究科人間発達科学専攻教授)

●プロジェクトC 身体と医療・科学・技術

C1 「『アジア』における『身体』と『性別』認識に関する研究」

C2 「科学技術史・科学技術政策とジェンダーに関する研究」

C3 「ポストゲノム時代における生物医学とジェンダーに関する研究」

C4 「『開発』と『性と生殖の健康/権利』に関する研究」

C5 「女性の身体観と『月経・妊娠・出産・閉経』の文化的・社会的変化に関する研究」

C6 「『多様なセクシュアリティ』に関する研究」

〔研究担当〕★：リーダー、☆：サブリーダー

★籓 かおる (ジェンダー研究センター教授・本学人間文化研究科人間発達科学専攻教授)

原 ひろ子 (ジェンダー研究センター非常勤講師・放送大学大学院総合文化プログラム文化情報科学群教授)

柘植あづみ (ジェンダー研究センター客員教授・明治学院大学社会学部教授)

波平恵美子 (ジェンダー研究センター長・本学人間文化研究科比較社会文化学専攻教授)

根村 直美 (ジェンダー研究センター研究協力員・日本大学助教授)

田澤 薫 (ジェンダー研究センター研究協力員・尚絅女学院短期大学助教授)

中山まき子 (ジェンダー研究センター研究協力員・鳴門教育大学助教授)

朝倉 京子 (ジェンダー研究センター研究協力員・新潟県立看護大学助教授)

浮ヶ谷幸代 (ジェンダー研究センター研究協力員・千葉大学非常勤講師)

川添 裕子 (ジェンダー研究センター研究協力員・放送大学、千葉大学他非常勤講師)

村田 陽平 (ジェンダー研究センター研究協力員・京都大学大学院博士課程)

●プロジェクトD 理論構築と文化表象

D1 「英語圏におけるジェンダーの文学/文化表と理論のローカル/グローバルな生産・受容・批評の分析」

D2 「ジェンダーに基づく視覚表象の分析と理論」

D3 「近代国民国家の形成とジェンダー表象の連関をめぐる分析研究」

〔研究担当〕★：リーダー、☆：サブリーダー

★竹村 和子 (ジェンダー研究センター研究員・本学人間文化研究科比較社会文化学専攻教授)

☆天野 知香 (本学人間文化研究科比較社会文化学専攻助教授)

石塚 道子 (本学人間文化研究科比較社会文化学専攻教授)

菅 聡子 (本学人間文化研究科国際日本学専攻助教授)

●間プロジェクト研究事業

〔研究担当〕

事業推進担当者全員

〔研究内容〕

- ・ジェンダー平等指標のパネル調査
- ・文化表象データベース作成
- ・連携研究「アジア認識とジェンダー」

4. 研究交流・成果公表活動

平成15年4月より平成16年3月の間の発表者及びその題目

は次の通りである。

1) 研究会・講演会・シンポジウム

平成16年3月6日(土) 公開講演会

「戦争体験とジェンダー—北東アジアの女性口述史研究から—」

於：理学部3号館701室、参加者59名。

演者：李小江(ジェンダー研究センター外国人客員教授・大連大学教授)

コメンテーター：成田 龍一

(日本女子大学人間社会学部教授)

加納実紀代

(敬和学園大学国際文化学教科員)

通訳：陳蘇黔

2) 研究委員会

平成15年4月8日(火) 各プロジェクトの計画・進捗状況報告

平成16年3月15日(月) 各プロジェクトの進捗状況報告、次年度の体制について話し合い

3) セミナー・ワークショップ

5月28日(水)～7月4日(金) 夜間セミナー(計5回)

何春蕤「東アジアにおけるジェンダー／セクシュアリティ理論と政治の諸課題」於：理学部3号館701室、参加者延べ449名。

7月8日(火) 特別ワークショップ「女性のエンパワーメントと語学教育」於：理学部3号館会議室、参加者11名。

基調講演：ドゥーリット・カウフマン(ニューヨーク州立大学ストーニー・ブルック校言語学部助教授)

報告：徐阿貴(本学人間文化研究科博士後期課程)

10月27日(月)～11月26日(水) 夜間セミナー(計5回)

戴錦華「映画に見るジェンダー化された『中国』—ポスト冷戦時代の文化政治—」於：共通講義棟2号館201室、参加者延べ504名。

平成16年

1月28日(水)～2月18日(水) 夜間セミナー(計4回)

李小江「グローバル化における通文化的ジェンダー研究の意義と方法—北東アジア女性口述生活史を事例として—」於：理学部3号館701室、参加者延べ186名。

4) 刊行物

①お茶の水女子大学ジェンダー研究センター編・刊『ジェンダー研究—お茶の水女子大学ジェンダー研究センター年報』第7号刊行(2004年3月)

②〈国際ジェンダー研究〉編集委員会編・ヴェラ・マッキー著『グローバル化とジェンダー表象 シリーズ〈国際ジェンダー研究〉2』御茶の水書房(2003年11月)(ヴェラ・マッキー教授夜間セミナー記録集)

5. 研究指導・教育活動

1) 研究生・研修員

研究生：

横山 美和「19世紀ヴィクトリア朝のジェンダー考察—進化論が性差観に及ぼした影響から—」

(成15年4月1日～平成16年3月31日)

陳 欣欣(Angelina YanYan Chin)「中国人移民の歴史についての研究」

(平成15年4月1日～平成16年3月31日)

私学研修員：

黒澤亜里子(沖縄国際大学教授)

「ジェンダーとセクシュアリティ研究」

(平成15年4月1日～平成16年3月31日)

皆川美恵子(十文字学園女子大学教授)

「八百屋お七を題材とした羽子板誕生にみる女性文化の研究」

(平成15年4月1日～平成15年9月30日)

2) 学部出講・大学院担当

館 かおる

コア・クラスター：知の生成論(後期)

文教育学部：社会教育特講(前期)

生活科学部：ジェンダー論(後期)

人間文化研究科博士前期課程 発達社会科学専攻

開発・ジェンダー論コース：

ジェンダー関係論(前期)

ジェンダー関係論演習(後期)

開発ジェンダー論特論(前期)

人間文化研究科博士後期課程 人間発達学専攻

ジェンダー論講座：

ジェンダー史論

ジェンダー史論演習

伊藤 るり

生活科学部：比較ジェンダー論(前期)

人間文化研究科博士前期課程 発達社会科学専攻

開発・ジェンダー論コース：

比較ジェンダー開発論（前期）

比較ジェンダー開発論演習（前期）

開発ジェンダー論特論（前期）

国際協力論演習（集中）

人間文化研究科博士後期課程 人間発達学専攻

ジェンダー論講座：

国際女性開発論演習（1）・（2）

河野貴代美

コア科目（基礎講義）：女性問題（前期）

コア・クラスター：女性の活動とカウンセリング（後期）

生活科学部：ジェンダー論（前期）

6. 社会的貢献

ジェンダー研究センター

- ・諸外国／国内の女性関係行政部門、民間団体（NGOの女性問題担当者等）、研究者等の視察受け入れ、日本の男女共同参画の現状等について解説

館かおる

<講師>

- ① 4月14日（月） お茶の水女子大学附属小学校公開研究会 講演「子どもの発達に応じたジェンダーフリー教育の考え方」
- ② 8月20日（水） 静岡県男女共同参画センター 教職員のための男女共同参画セミナー 基調講演「学校教育の中のジェンダー」
- ③ 平成16年2月4日（水） 本学 アフガニスタン指導的女子教育者研修 講演「近代日本女子教育史からの提言—アフガニスタンの女子教育振興プラン策定にむけて—」

<他大学出講>

- ・埼玉大学教育学部非常勤講師（総合学習研究「女性の生き方と教育」）

<委員>

- ・湯河原町男女共同参画懇話会会長「ゆがわら男女共同参画プラン」推進状況への助言（平成12年秋～平成15年8月）
- ・ゆがわら男女共同参画懇話会委員（平成15年10月1日～平成17年9月31日）
- ・農林水産省専門技術員資格試験審査委員（平成15年4月1日～平成17年3月31日）
- ・（財）人権教育啓発推進センター平成15年度人権啓発資料審査会（法務省委託）審査員

- ・日本学術会議社会学研究連絡委員会委員（平成15年10月16日～平成18年10月15日）

- ・日本女性学会幹事（平成14年6月～平成16年6月）

伊藤 るり

<講師>

- ① 4月14日（月） British Association for Japanese Studies 2003年度年次会議のパネルセッション Crossborder: Gender & Society においてパネリストとして講演 於：英国シェフィールド大学

- ② 10月31日（金） お茶の水女子大学附属高等学校 2年特設科目「国際協力とジェンダー」講義

- ③ 11月7日（金） 国際協力事業団平成15年度第2回技術協力専門家養成研修「社会・ジェンダー調査手法の実践コース」講義「開発・国際協力と社会・ジェンダー」

- ④ 12月10日（水） インド デリー大学 Developing Countries Research Centre 主催の International Conference on Women and Migration in Asia において基調講演

<他大学出講>

津田塾大学大学院国際関係学研究科非常勤講師（ヨーロッパ研究／社会組織論）

<委員>

- ・男女共同参画会議 苦情処理・監視専門調査会委員
- ・国立女性教育会館研究紀要 紀要協力委員（平成7年度～）
- ・国際協力事業団「重点課題別支援委員会（開発とジェンダー）」委員（社会学）（平成15年4月1日～9月30日）
- ・国際協力事業団アフガニスタン調査団（女性の経済的エンパワメント支援分野）派遣（平成15年9月4日～13日（土））
- ・外務省独立行政法人評価委員会委員（平成15年9月1日～平成17年8月31日）
- ・かながわ国際政策推進懇話会専門委員（平成12年度～）
- ・*Indian Journal of Gender Studies* (Sage Publications, New Delhi, Thousand Oaks, London) 編集顧問
- ・*Estudios de Asia y Africa* (メキシコ大学院大学アジア・アフリカ研究センター紀要) 国際編集委員会委員

河野貴代美

<講師>

- ① 6月3・17日、7月1・15・29日（火） とちぎ女性センター「平成15年度フェミニストカウンセリング講座」講義

- ② 6月13日・9月26日・11月21日・2004年3月19日（金） 西東京市 平成15年度女性相談事業「相談業務の研修」講

義・講演

- ③ 7月25・26日（金土）、9月25日（木）、10月23日（木）青森市 平成15年度カダールカレッジ「ファシリテーター養成講座」講義
- ④ 9月11日（木）お茶の水女子大学21世紀COEプログラム「誕生から死までの人間発達科学」国際セミナー「情報社会における若者とアディクション」コメンテーター「The Response to Dr. Peltoniemi」
- ⑤ 10月10日（金）横浜市青葉区女性問題講座 講義
- ⑥ 10月28日（火）横浜国立大学 平成15年度セクシュアル・ハラスメント等講演会
講演「セクシュアル・ハラスメントとキャンパス・ハラスメント」
- ⑦ 12月2日（火）宇都宮大学セクシュアル・ハラスメント防止講演会 講演
- ⑧ 平成16年1月8日（木）大阪女子大学公開講座「女性学講演会」講演
- ⑨ 1月16日（金）平成15年度参議院議員秘書講習 講義「コミュニケーション術—快適に働くために—」
- ⑩ 2月25日（水）～26日（木）国立女性教育会館平成15年度「女性関連施設相談担当者実務研修」講義「女性関連施設における相談事業の意義」
分科会 B-2「DV、性暴力、性被害、セクシュアル・ハラスメント等女性に対する暴力」助言者
- ⑪ 3月3日（水）独立行政法人国際協力機構平成15年度（国別研修）「ジェンダーの主流化政策」フィリピンからの研修生受け入れ
講義「ジェンダーの主流化と女性の就労」
- ⑫ 3月4日（木）福山市男女共同参画センター講演会「虐待からの回復—フェミニストカウンセリングの立場から—」
講演「女性に対する暴力被害からの回復—フェミニストカウンセリングの立場から—」
- 〈他大学出講〉
- ・城西国際大学大学院非常勤講師（女性学特別講義「ジェンダーとカウンセリング」）
- 〈委員〉
- ・国際協力事業団 アフガニスタン高等教育・教員養成支援計画予備調査 派遣（平成15年5月10日（土）～16日（金））
 - ・「DV 被害者支援活動促進のための基金」運営委員（平成14年12月1日～平成17年3月31日）
 - ・日本フェミニストカウンセリング学会 代表理事

何春蕤

- 〈講師〉
- ① 7月11日（金）～12日（土）京都精華大学創造研究所研究会
「スティグマ化されたジェンダー主体」 講義
- 戴錦華
〈講師〉
- ① 12月2日（火）～3日（水）京都女子大学「現代中国の芸術と文化研究会」 講義

李小江

- 〈講師〉
- ① 平成16年3月7日（日）～8日（月）関西中国女性史研究会主催
「中国演劇におけるジェンダーの表象」座談会 講義
- ② 3月15日（月）～16日（火）奈良女子大学アジア・ジェンダー文化研究センター設立準備委員会主催研究会「日中の大学におけるジェンダー研究組織の現況と課題」 講義
- ③ 3月19日（金）アジア女性交流・研究フォーラム主催 九州市・大連市友好都市締結25周年講演会 講演「大連の経済開発と女性の現状—大連大学ジェンダー研究センターの活動から—」

7. 文献・資料収集／情報提供／閲覧活動

1) 収集資料点数

平成15年4月から平成16年3月までに収集した資料は和漢書単行本 145冊（内科学研究費分74冊）、洋書単行本129冊（内科学研究費分92冊）、その他雑誌、パンフレットなど多数。

2) 主要収集資料

国際移動とジェンダーに関する文献・資料／ジェンダーとセクシュアリティに関する文献・資料／開発とジェンダー教育に関する文献・資料／女性と自然科学者に関する文献・資料／リプロダクティブ・ヘルス/ライツに関する文献・資料／アジアの女性政策と開発に関する文献・資料／女性とたばこをめぐる関係資料／韓国の女子中等教育に関する資料／韓国の女性政策に関する資料／「東アジアにおける植民地的近代とモダンガール」に関する研究資料など

3) 資料提供

・読売テレビ「大阪ほんわかテレビ」「仁鶴の話のネタ」コーナーの「校歌を歌おう！」（平成15年5月25日（日）放

映)、「童謡の知られざる秘密」(7月20日(日)放映)のために東京女子師範学校正門写真(明治8年)一葉を貸出。

- ・東京大学総合研究博物館「学位記展II」(7月19日(土)～9月7日(日))の「保井コノ はじめての女性博士」展示に協力、保井コノ資料、写真を貸出。
- ・産経新聞「時の絆—大正2年8月16日 日本初の女子大生誕生」(8月17日(日)掲載)のために黒田チカ写真を一葉貸出。
- ・スカイパーフェク TV サイエンスチャンネルの「偉人たちの夢 第87回湯浅年子」(平成16年2月5日16時～放映)のため、株式会社映像館に湯浅年子写真を貸出。
- ・日本の草分けの女性科学者達の映像化調査のため、『ビデオ女性科学者の群像 湯浅年子、黒田チカ、保井コノ』を貸出。
- ・理化学研究所広報室による「女性科学者映像評伝(仮題)」(ビデオ化及びサイエンスチャンネルでの放映)のため、山陽映画株式会社に黒田チカ資料を貸出。
- ・産経新聞平成16年度新連載の人物伝のため、保井コノ情報を提供。
- ・佐賀県三日月中学校、郷土の授業のため、黒田チカ情報を提供。

4) リファレンスサービス資料及び情報の提供・閲覧・貸出・常設展示

- ・コピーサービス：常時附属図書館情報サービス・情報システム係で担当
- ・ホームページ(和文・英文)の更新実施
- ・図書以外に関する情報提供
- ・ニュースレター「IGS 通信」発行

5) 図書・資料寄贈(敬称略)

掲載は、和書：寄贈者名『書名』(著者名)、洋書：寄贈者名書名(イタリック)(著者名)の順とした。

山本容代『意義ある人世に生きん』(山本容代)、島根県立北東アジア地域研究センター『北東アジアにおける中国と日本』(宇野重昭)、津田塾大学『未知への勇氣』(津田塾同窓会)、河野貴代美『心的外傷の危機介入』(H・J・パラド/L・G・パラド)、柏書房『日本近代国家の成立とジェンダー』(氏家幹人他)、高良留美子『世界的にのびやかに高良とみの行動的生涯』(高良留美子)、Hayami Yoko *Gender and Modernity* (Hayami Yoko, et al.), 河野貴代美『“ポスト”フェミニズム』(竹村和子)、竹村和子・河野貴代美『“ポスト”フェ

ミニズム入門』(ソフィア・フォカ/レベッカ・ライト)、津英阿木『妹・律の視点から』(阿木津英)、Cynthia Enloe *Maneuvers* (Cynthia Enloe), *The Morning After* (Cynthia Enloe), *Bananas, Beaches and Bases* (Cynthia Enloe), *Mrs. Dalloway* (Virginia Wolf), *A Novel About the Balkans* (Slavenka Drakulić), *Pataya Ruenkaew Heirat nach Deutschland* (Pataya Ruenkaew), Amaryllis T. Torres *Mga Ina Ng Bayan* (Amaryllis T. Torres, et al.), アジア工科大学 *Guidelines on Strategies & Responses to the Needs of Burmese Migrant Women in Thailand* (Nang Lao Liang Won), 阿木津英『短歌のジェンダー』(阿木津英)、小林徹行『明治女性の殉死と文学』(小林徹行)、女性民俗学研究会『子産み・子育て・児やらい—大藤ゆき追悼号』(女性民俗学研究会)、天理大学おやさと研究所『女性と宗教』(天理やまと文化会議)、東京大学総合研究博物館『シーボルトの21世紀』(大場秀章)、こがねい女性ネットワーク小金井女性史を作る会『聞き書き集 小金井の女性たち—時代をつなぐ—』(小金井女性史を作る会)、竹村和子『かくも多彩な女たちの軌跡』(海老根静江・竹村和子)、資生堂企業資料館『資生堂宣伝史 I～III』(資生堂)、『資生堂宣伝史総合篇/TV・CM篇/セルジュ・ルダンス篇』(資生堂)、シュプリンガー・フェアラー東京『リーゼ・マイトナー』(R・L・サイム)、河野貴代美『フェミニスト福祉政策原論』(杉本喜代栄)、戒能民江『キャンパスのセクハラ対策—調査・紛争処理編—』(戒能民江・角田由紀子)、愛知淑徳大学 ICT とジェンダー研究会『ジェンダー・女性学研究・活動における ICT の活用実態調査・研究成果報告書』(愛知淑徳大学 ICT とジェンダー研究会)、聖徳大学川並記念図書館『聖徳大学七十年の歩み』(川並弘昭)、『子どもと教育—川並弘昭先生古希記念論集—』(川並弘昭先生古希記念論集刊行委員会)

6) 来館・閲覧者(抄)(敬称略、表記は記名による)

平成15年4月4日・15日 庭前瑞波(お茶の水女子大学科目等履修生)、4月8日 門田祐子(Univ. of Portland 卒業生)、相馬直子(東京大学総合文化研究科D2)、大海篤子(ジェンダー研究センター研究協力員)、4月11日 真篠久美子(東京学芸大学教育学部4年)、5月2日 廣岡郁(龍谷大学講師)、川上かつみ(放送大学職員)、5月14日 平井照水(総合研究開発機構)、中村唯(総合研究開発機構)、5月22日 島いづみ(東京都立短期大学文化国際学科2年)、佐藤美歩(東京都立短期大学文化国際学科2年)、5月30日 岩瀬智広(国際基督教大学4年)、6月3日 川勝守生(東京大学大学院人文社会系日本史学博士課程)、6月3日・24日 吉池敦子(東

京大学大学院人文社会系文化資源学修士課程), 神尾美紗希(東京大学文学部歴史文化学科東洋史学3年), 6月13日・18日 武石みどり(東京音楽大学音53), 田辺けい子(共立女子大学), 6月16日 趙葉珠(国際交流基金関西センター), 6月18日 真橋美智子(日本女子大学職員), 6月24日 植松佳子(東京大学文学部行動文化学科社会学専修課程5年), 6月25日 合亀貞雄, 佐々木美奈子(放送大学大学院文化科学研究科), 7月2日 伊藤登喜子, 7月3日 大場幸子(社会保険労務士), 7月8日 小宇佐祥子(高知女子大学文化学部), 7月18日 石渡裕太(東京大学文学部), 小保方絵美(慶応義塾大学4年), 7月23日 田中有紀子(横浜市立大学M1), 7月25日 薄井篤子(東洋英和女学院大学講師), 7月28日 伊崎まゆみ(津田塾大学大学院), 7月30日 尾西央行(産経新聞東京本社編集局社会部), 8月4日 萩原明子(国際協力事業団専門家), 8月8日 石川百合子(産業技術総合研究所), 8月11日 中村衣里(神戸大学総合人間科学研究科M2), 8月20日 シモナ バローネ(カタニア大学), ピエルルイジ ベリニー(Venezie 大学), 8月22日 シャラリン オルバー(Univ. of British Columbia), 8月25日 酒井順子(ジェンダー研究センター研究協力員), 9月4日 尾川洋子(国立女性教育会館客員研究員), 9月12日 柳澤隆夫(大阪大学), 磯崎アンナ(University of Sheffield, England), 9月18日 澤田勝弘, 9月24日 森田朋子(人間文化研究科助手), 10月10日 小林善帆(国際日本文化研究センター), 10月16日 小山みずえ(上智大学4年), 高杉紗恵子(東京女子大学), 10月22日 瀬脇真里(中央大学総合政策学部), 10月27日 中西裕子(卒業生), 11月5日 長島由里(法政大学人間環境2年), 11月6日 鈴木久美子(恵泉女学園大学卒業生), 11月18日 スペータ(国際交流基金関西センター), 11月18日・21日 塙由起子(New York University), 11月19日 杉山二季(東京大学大学院), 12月8日 Wendy Okamoto(Univ. of Queensland), 12月10日 スティール 若希(ジャッキー)(オタワ大学女性と政治研究センター), 12月12日 金善民(韓国淑明女子大学), 12月15日 三石のぞみ(武蔵大学4年), 12月17日 小松光宏(岩波映像), 12月22日 北村毅(早稲田大学大学院), 12月25日 加藤千香子(横浜国立大学教員), 平成16年1月8日 Tri Nuke Pudjiastuti(Research Studies of Politics, Indonesian Institute of Sciences), 1月19日・31日 サンドラ ウィルソン(マードック大学教員), 1月20日 西川祐子(京都文教大学人間学部教授), 1月21日 中村文(卒業生), 1月22日 河合淳子(京都大学留学生センター教官), 1月26日 Josefa Francisco(Women & Gender Institute, Miriam College), 1月27日

正本弘子(理化学研究所), 中川幸大(山陽映画), 吉岡浩(山陽映画), 矢野倉実(理化学研究所), 菅原ひより(理化学研究所) 1月30日 坂井圭子(九州大学大学院法学府), 2月3日 前みち子(デュッセルドルフ大学), 2月9日 川野有佳(城西国際大学研究員), 2月10日 鄭好善(卒業生), 2月12日 杉橋やよい(立教大学非常勤講師), 2月13日 柴久子(山口県立大学大学院), 堀久美(大阪女子大学大学院), 2月16日 大久保泰輔(筑波大学付属高等学校), 辻野和昭(筑波大学付属高等学校), 岩崎達也(筑波大学付属高等学校), 高島万梨子(筑波大学付属高等学校), 谷上絵理子(筑波大学付属高等学校), 2月20日 西山優子(荒川区立南千住図書館), 西山雅子(人間文化研究科物質科学専攻), 2月27日・3月26日 鈴木敦子(東北大学大学院文学研究科教授), 3月1日 村上薫(アジア経済研究所), 3月9日 瀬名波栄潤(北海道大学), 3月22日 江口千冬(三日月町立三日月中学校教諭), 3月23日 新川てるえ(NPO法人Wink), 3月24日 杉江叔子(名古屋大学大学院), 佐々木敬一(日刊ベリタ記者), 3月29日 旦節子